

事務事業計画										所管課		環境課		担当班	環境美化班	
事務事業名		コード	20400	生活排水処理施設管理費		予算科目		会計		款	項	目	事業種別	☒ 主な事業		
施策体系	基本施策	21	良好な生活環境の形成		根拠法令	水質汚濁防止法、旭市環境基本条例等					4	1		4	☐ 国土強靱化地域計画	
	施策の展開	39	住み良い住環境の確保		戦略事業	190	菟園生活排水処理施設の維持管理									☐ 新市建設計画
	施策の展開				戦略事業											☐ 定住自立圏構想
																☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 4 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		菟園生活排水処理施設において、飯岡海岸地区61.8ヘクタールの生活排水をマンホール場でポンプアップし、処理場にて浄化処理した後、海に放流することにより海岸環境の悪化防止と水質保全を図る。【施設面積】920㎡【マンホール場】10箇所 【業務内容】1. 委託業務(①自家用電気工作物保守点検業務委託 ②排水処理施設の維持管理委託 ③汚泥の分析業務委託、④汚泥の運搬業務委託、⑤汚泥の処理業務委託、⑥マンホールの維持管理業務委託) 2. 放水路等の維持管理	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
生活排水が主要排水路を経て海へ放流されることで、浜に汚泥の堆積や葦が生い茂ることにより、海岸環境の悪化、周辺への悪臭、海水浴場等への汚染が懸念され、海岸環境の整備保全が急務となったため、施設が設置された。		ガソリン・燃料代の高騰に伴い、汚泥の収集運搬・処分費が上 がっている。 合併処理浄化槽設置促進事業に伴い合併処理浄化槽の設置基 数が増加している。	適正に管理されており、特に要望等はない。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1.維持補修費	162	マンホールポンプ等の修繕	千円	1,080	437	0	162	0
2.施設維持管理委託料	1,594	処理施設等の保守点検整備	千円	1,801	1,685	1,640	1,594	1,609
3.清掃委託料	5,499	発生汚泥の収集運搬・処分等	千円	5,750	6,394	6,000	5,499	7,948
4.その他(委託料)	854	汚泥検査、自家用電気工作物保守点検	千円	308	308	312	854	1,140
5.その他	5,574	消耗品費、光熱水費、保険料	千円	6,143	5,197	5,409	5,574	6,787
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円	事業費計(A)					
1.国庫支出金	0		千円	15,082	14,021	13,361	13,683	17,484
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	0		千円					
			千円	15,082	14,021	13,361	13,683	17,484

前年度増減理由	法改正による汚泥検査回数及び検査項目の増及び汚泥処分費の高騰による増加
---------	-------------------------------------

従事職員数	常時 1 人	最大 2 人	× 7 日	= 延べ 14 人
-------	--------	--------	-------	-----------

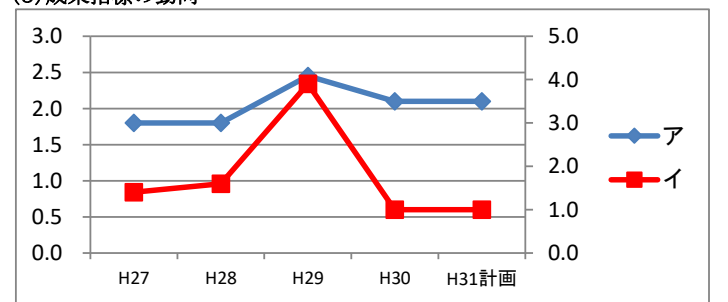
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア 施設の保守点検(放流水等の分析検査等)回数	回	53	52	53	52	52
	・施設の維持管理・点検整備 ・発生汚泥の収集運搬・処分等	イ 発生汚泥の収集運搬・処分量	t	124	128	118	106	123
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	対象 飯岡海水浴場 意図 処理区域 対象 水質が保全される	ア 飯岡海水浴場における水質検査結果(海開き前2回、開催中2回)(飯岡、矢指ヶ浦のCOD数値の平均)	mg/l	1.8	1.8	2.5	2.1	2.1
	意図	イ 放流する水の水質(上段BODの数値平均)	mg/l	1.4	1.6	3.9	1.0	1.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果					
		成果向上余地			コスト比率				
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位1/3	中位1/3	上位1/3		
施策貢献度	大きい			④	評価結果	①			
	普通					②			
						③			
	小さい					④⑤			
						⑥			(11)
					⑦⑧				
					⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ ☒ 数値減＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 成果指標イ ☒ 数値減＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下
【コメント】(低下の場合、その理由)	COD、BODともに27年度以降、微増傾向ではあるが、ほぼ横ばいである。 ※水質汚濁防止法に定める一律排水基準許容限度(COD/BOD共) 160mg/l(日間平均120mg/l) ※水浴場の水質の判定基準(COD値) AA:2mg/l以下 A:2mg/l以下 B:5mg/l以下 C:8mg/l以下
③ 今年度取組事項(31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 通年 内容 例年通り実施 今後の方向性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他() 通年 例年通り実施